



【山陰インバウンドニュース7月号】

2020年7月20日

(一社)山陰インバウンド機構

7月の事業予定

1. 「反転攻勢！V字回復！『山陰インバウンドセミナー第2回』の開催について

山陰インバウンド機構では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているインバウンドマーケットで、“withコロナ、afterコロナ時代”において反転攻勢、V字回復に寄与する情報を共有するために、Webセミナーを継続的に実施しています。第2回目は、下記のとおり開催します。若干余裕がありますので再度ご案内します。

*後日、動画をYouTubeで公開させて頂く旨お知らせしましたが、大変申し訳ありませんが中止となりましたのでご了承頂きますようお願いいたします。21日にぜひともご覧ください。

記

- ◇日 時：令和2年7月21日（火）16：00～17：00
- ◇開催方法：Web会議サービス「ZOOM」のウェビナー機能を利用
- ◇参加費：無料（Webサービスへの参加は無料です）
- ◇定 員：80名（先着順ですのでご了承ください。）
（※システムの都合により、ご参加は80名までとなります。）
- ◇講演内容

演 題：「after/withコロナ 観光による地域創生を目指して」

講演者：株式会社 美ら地球（ちゅらぼし）代表取締役CEO

山陰インバウンド機構 DMOアドバイザー 山田 拓 氏

【プロフィール】

田舎を巡る外国人向けプラットフォーム「SATOYAMAEXPERIENCE」を運営。里山や民家などの現存する地域資源を活かしたツーリズムを主とした数々の地域再生ソリューションをプロデュース。平成24年地域づくり総務大臣表彰にて個人表彰を受けるほか、環境大臣賞（「五感で感じるまち大賞」、平成23年）、グッドデザイン賞（平成25年）、エコツーリズム大賞優秀賞（平成26年）など、多方面からの評価を受ける。近年は、地方部各地でのツーリズム・ビジネスの立上げ支援や、人材育成プロジェクトに従事する。2020年2月より山陰インバウンド機構 DMOアドバイザー。

【山田アドバイザーからのメッセージ】

コロナウイルスの影響により、日本全国から外国人旅行者が消え、各地に大きな影響を及ぼしました。観光産業において、まずは国内旅行者の需要から回復が期待されておりますが、将来を考えると国内旅行者のみを見ていて良いでしょうか。目の前の国内旅行者の来訪に対応をしながら、必ず戻ってくるであろう外国人旅行者を待ち受ける準備の手を止めずに進める必要があります。

先を見据えて、今やるべきことについて考えていきましょう。

◇セミナーへの参加方法

参加方法は、当機構WEBサイトをご参照ください。https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/5340.html

中国の旅行業界の状況

今後の反転攻勢に備え、JTB 上海の赤池様より中国の旅行業界の現状等について教えて頂きました。

○景気・旅行マインド

- ・中国国内の景気は回復基調であり、5月の新車販売台数は前年同月比14.5%増。上海のデパートでも前年同月以上の売上を記録したところも出ています。
- ・旅行に関して、年内は国内旅行が主流。10月から国外旅行が回復し、アジア太平洋地域が早く回復する見込み。（もしかすると、もう少し早くなるかもしれません）
- ・訪日観光本格化は2021年以降という声が多くなってきました。（「新浪旅遊(旅行電子商取引プラットフォーム)」5/15）

- ・訪日ビザに関して、北京のクラスターの状況と最初にビザを再開する4か国との状況を勘案し、商務ビザ、留学ビザ、観光ビザの順番に解除。観光は2021年春節明けという声もあります。
- ・中国人にとってコロナ終息後、最も行きたい国は、1位日本20.8%、2位ヨーロッパ15%（「21世紀経済報道（経済情報誌）」3/27）
- 訪日取扱の中国旅行社への3月時点のアンケート結果（JNTO, 6月発表）
- ・2020年販売に注力する目的地として中国地方は2019年2%→2020年3月17%へ15ポイント上昇。新型コロナウイルスの影響で、全国的に人の密集度が低い場所を愛好する傾向もみられます。
- ・2020年に増加が期待できる訪日旅行のテーマ
1位:スキー・雪遊び(67%)、2位:美食(64%)、3位:温泉(63%)、4位:親子旅行(61%)、5位:教育旅行(60%)。1位のスキーは2022年北京五輪に向け、スキー熱の高まりが予想されます。大山スキー場はまだ認知度が低い為、今後中国旅行社へセールスポイントとしてアピールします。
- 現地旅行社動向
- ・多くの旅行社のアウトバウンド部門は自宅待機が続いております。
- ・日本を担当している自宅待機の旅行会社社員も日本関連の物から野菜まで売って生計をたてています。Cトリップの日本部門は10月まで自宅待機とのこと。

コロナ禍における山陰のインバウンド取組み事業者の状況

インバウンドビジネスの現状を知って頂くため、山陰地域で事業に取り組む事業者の取組みを紹介させていただきます。昨年度当機構が実施した「インバウンドビジネスプレーヤー創出・支援事業」で香港市場と地域との連携についてご講演を頂いた株式会社プリムローズガーデンの仁連 C00 に現状を伺いました。

企業名：株式会社プリムローズガーデン
 代表者：代表取締役 小栗かおる
 所在地：鳥取県西伯郡大山町飯戸 1570 番地
 電話：0859-48-5050
 WEB：https://primrosegarden.co.jp/about



○事業概要：ウエディングプロデュース、ガーデン設計・プロデュース（仁連 C00）

- ・ウエディングに関する業務は12年前に開始しました。コロナ以前は年間で凡そ日本人200組、インバウンド125組に利用して頂いていました。インバウンドのターゲット地域は主に香港、台湾、中国ですが、9割は香港からのお客様です。うち80%が平日利用です。
- ・香港支店を2018年6月に設立し、職員5名のうち2名は日本語検定1級を持っています。香港で月に一回開催されるウエディング展示会に、現在も毎回出展しており、多い時で1日に15、6組の契約があります。
- ・展示会では、教会よりも地域の紹介を主に行います。9割の時間は地域のPRを行っています。ウエディングの誘致には地域を知ってもらうことが非常に重要と考えています。2週間に1度、Liveで山陰の紹介動画も配信しています。
- ・コロナ以前は香港からは米子空港 IN 関空 OUT もしくは関空 IN 米子空港 OUT で訪日し、関西で観光をするお客様が多かったです。結婚式に来る親族の6割は深圳等の大陸の中国人です。
- ・予約は式の半年～8カ月前が多く、現時点での予約は既に80組～100組（約2,000人）あります。キャンセルする場合、通常はキャンセル料が必要となりますが、当社は、2年間はキャンセル料を無料にしています。香港国内では国内でブライダルをする人が減少傾向にあり、海外での挙式が増加しつつあります。

観光関連統計等

山陰への訪日外国人宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2020年4月	1,570人泊（鳥取1,180人/島根390人）	前年同月比 93.6%減
2019年4月	24,690人泊（鳥取15,560人/島根9,130人）	
日本全体の現状 2020年4月 （速報値）	202,630人 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html	前年同月比 98.2%減

